



2025年11月28日

株式会社みずほ銀行

名古屋鉄道株式会社との「Mizuho人的資本経営インパクトファイナンス」の 契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、名古屋鉄道株式会社（代表取締役社長：高崎 裕樹、以下「名古屋鉄道」）との間で、本日、「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）に関するシンジケーション方式による契約を締結しました。

本商品は、みずほリサーチ＆テクノロジーズ株式会社（取締役社長：吉原 昌利、以下「みずほリサーチ＆テクノロジーズ」）が国内外で信頼性の高い人的資本に関する情報開示のガイドライン（ISO30414、内閣府人的資本可視化指針等）を参考に、独自に開発した評価手法を用いて、企業の人的資本経営に関する可視化・開示と実践の取り組みをスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し、みずほ銀行が融資を行う商品です。また、みずほリサーチ＆テクノロジーズによる定期的なモニタリングとフィードバックを行い、お客さまの人的資本経営の継続的な取り組みを支援していく商品です。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（JCR）から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合する旨の意見書を取得しています（※2）。

名古屋鉄道は、高い社会的使命感と地域愛を持つ従業員を「人財」と捉え、積極的な人財投資を行うことで、「人財力の基盤の確立」と「人財力の向上」を目指しています。「人財力の基盤」として、「人権」「健康」を定義し、グループ全ての従業員が安心して働く職場環境を提供していくとともに、従業員一人ひとりの「人財力の向上」を実現していくために、「挑戦・創意工夫」「成長・能力発揮」「DE&I」の3要素を軸とした各種施策を進めています。

みずほ銀行およびみずほリサーチ＆テクノロジーズは、名古屋鉄道が以下の領域等における取り組みを開示していることを高く評価しています。

・エンゲージメントの領域

従業員エンゲージメントのスコアに加えて、人財投資が従業員のエンゲージメント向上やウェルビーイングの実現につながり、顧客や地域社会の豊かさに結び付くプロセスが図示されており、人材戦略におけるエンゲージメントの位置付けが明確に整理されている点

- ・健康・安全の領域

健康経営の「戦略マップ」において、健康経営の重点施策が、健康投資効果を創出し、健康経営で解決したい経営課題の解決に結び付くメカニズムが図示されている点

- ・ガバナンスの領域

「ESG推進委員会 体制図」において、取締役会の監督下で、社長を委員長とする「ESG推進委員会」がサステナビリティに関する取り組みを審議・推進し、取締役会へ上程・報告する体制が図示されている点。加えて、「ESG推進委員会」における議題が開示されており、人的資本経営における課題についても審議が行われていることが明記されている点

〈みずほ〉は、各企業が中長期的な企業価値向上につながる人的資本経営を実践することが重要と考えています。ブランドスローガンである「ともに挑む。ともに実る。」のもと、本商品の提供を通じ、継続的なエンゲージメント（建設的な対話）を行うことで、お客さまの持続的成長、及び中長期的な企業価値の向上に貢献することを目指すとともに、国内における人的資本経営の取り組みの普及・促進に貢献していきます。

(※1) Mizuho人的資本経営インパクトファイナンス

2023年5月30日付ニュースリリース「Mizuho人的資本経営インパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230530_2release_jp.pdf

(※2) 株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上